


# みやぎの 林業だより

令和5年12月25日  
発行

MIYAGI  
Green Coast Project  
みやぎグリーンコーストプロジェクト

231号

目次

<b>特集</b>	東日本大震災で被災した海岸防災林の今 ..... 5～6 みやぎグリーンコーストプロジェクトバスツアー開催 地域に愛され大切にされる海岸防災林を目指して クロマツ海岸防災林の健全化に向けた調査について	
<b>トピックス</b>	森林づくり・木づかい表彰 ..... 1 令和5年度農林産物品評会（林産物部門）及び宮城県産山の幸販売会を開催しました ..... 2 第56回全農乾椎茸品評会で農林水産大臣賞受賞！ ..... 2 「森林×脱炭素チャレンジ2023」Jクレジット部門で優秀賞を受賞しました ..... 3 「全国苔フェスティバル in 栗原 2023」の開催 ..... 3	
<b>シリーズ</b>	あつまれ！みやぎの森林人（もりびと）！「千葉 隆博さん（石巻市）」 ..... 4	
<b>各種取組</b>	ハタケシメジ栽培講習会の開催 ..... 7 森と食の連携推進～「木育」×「食育」～ ..... 7 「気仙沼産メンマ」今年もはじめました ..... 8 日々、木育体験！！～登米市・白鳥ゆめっこ園に木製品が導入されています～ ..... 9 「みやぎの木製品展2023」を初開催しました♪ ..... 9 暮らしを守る治山事業 ..... 10 「林道施設災害復旧」について ..... 10 森林組合の経営診断～地域林業の担い手として～ ..... 11	
<b>お知らせ・ご案内</b>	みやぎ全育つーしん Vol.1 ..... 11 読者アンケートにご協力ください！！ ..... 4	
<b>市況</b>	木材市況の動向・特産市況の動向 ..... 12	



◀みやぎの林業だよりバックナンバーはこちら



# 森林づくり表彰・木づくり表彰

県では、森林づくりや木材利用に対する県民等の参加及び理解の促進を図るため、「みやぎ森と緑の県民条例」に基づき、森林づくりや林業・木材産業の振興に関して特に功績があった方に感謝状の贈呈を行う「森林づくり・木づくり表彰」を実施しています。

今年度は、十一月二十二日に表彰式を行い、池田副知事から「森づくり表彰」一者、「木づくり表彰」三者に感謝状を贈呈しました。



全体写真  
(左から、カメイ株、栗駒高原森林組合、池田副知事、東北ボーリング株、みやぎ登米農業協同組合)

## ○森林づくり表彰(一者) ◆カメイ株式会社

大和町内の県有林約五ヘクタールにおいて、十年間にわたり、社員や家族などによる下刈等の森林整備に取り組み、自然保護や地球温暖化防止への意識を高めるとともに、森林が持つ公益的機能の維持・増進に寄与しています。



社員等が継続的な森林整備を実施

## ○木づくり表彰(三者) ◆栗駒高原森林組合

木材需要が低迷する中、森林施業の集約化と実践、生産コストの低減や流通体制の構築などにより、県内で唯一、飛躍的な素材生産量の増加を達成し、県産材の利用拡大に寄与しました。



林業機械を活用した搬出作業

## ◆東北ボーリング株式会社

新社屋の建築に県産スギCLT等を活用し、木造建築物として県内初となる『ZEB』の認証を取得しました。

また、地元小学生を対象とした木工ワークショップなど、木育活動にも取り組んでいます。



県産CLT等を使用し、『ZEB』を取得した社屋

## ◆みやぎ登米農業協同組合

本店及び支店の新築に当たり、使用木材の九割にFSC認証を取得した地域材を活用し、全国初となるFSCプロジェクト認証(パーセンテージ表示)を取得しました。



FSC認証を取得した地域材をふんだんに使用した建物

受賞された皆様、おめでとうございます。



感謝状  
(県産スギ矢羽根板の額縁入り)

(林業振興課)

令和5年度農林産物品評会  
(林産物部門)及び宮城県産  
山の幸販売会を開催しました

十月十八日から二十日までの三日間、宮城県行政庁舎を会場に、林産物の生産技術の向上と普及啓発を目的として、県産生しいたけの品評会と展示販売会及び表彰式を開催しました。十八日の品評会には、県内各地から良質な生しいたけ二十一点が出品され、厳正な審査が行われました。翌日は、出品物の展示・販売会が行われ、多くの人で賑わいました。二十日の表彰式では、一席の林野庁長官賞をはじめ、上位五席までに各賞が授与されました。受賞者については次のとおりです。

【審査結果】

- ① 林野庁長官賞  
浅井 修(大和町)
- ② 宮城県食用茸協同組合長賞  
中條 友紀(栗原市)
- ③ 宮城県森林組合連合会長賞  
趙 文字(仙台市)
- ④ 宮城県林業振興協会会長賞  
氏家 幸子(大崎市)
- ⑤ 宮城県特用林産振興会長賞



林野庁長官賞(浅井修)

佐々木 久夫(大和町)



販売会実施状況

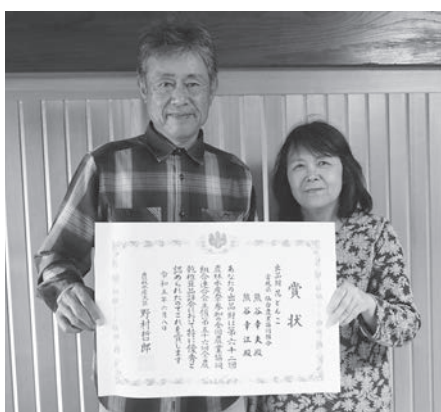
また、十月十五日の「きのこの日」にちなみ、十六日から二十日までの五日間、宮城県産山の幸販売会が同時開催され、開催期間中、多くの人で賑わい、広く宮城県産の山の幸を消費する機会となりました。



(林業振興課)

第五十六回全農乾椎茸品評会で  
農林水産大臣賞受賞!  
(仙台市 熊谷幸夫さん・幸江さん)

全国農業協同組合主催の第五十六回全農乾椎茸品評会が六月八日に埼玉県久喜市で開催され、仙台市の熊谷幸夫さん・幸江さんが「花どんこ」の部で農林水産大臣賞を受賞されました。



熊谷さんご夫妻

これまでも熊谷さんは、「こうしん大葉厚肉」の部で、平成七年度から平成十年度まで四年連続で農林水産大臣賞を受賞されています。

原木露地栽培の椎茸に出荷制限がかけられた後も、解除に向けた栽培管理に取り組まれる一方、本品評会への出品を続けて

おり、平成二十九年度以降、林野庁長官賞を四回受賞されています。

今回の出品に当たっては、収穫した椎茸の栽培方法が露地と施設が半々とのこと、露地栽培では傘が開きすぎないよう適期栽培を心がけ、施設栽培では温度管理に注意して出品物を揃えたとのこと。

なお、出品された乾椎茸は一キロ当たり一万五千円で販売されました。息子の貴幸さんも昨年度に林野庁長官賞を受賞しており、今後、御一家で高品質の原木椎茸生産を続けるとの力強いお話しも頂きました。



栽培管理を行っているほだ場

(仙台地方振興事務所)



## 「森林×脱炭素チャレンジ2023」J・クレジット部門で優秀賞を受賞しました

林野庁が行う森林由来 J・クレジット制度における審査会において、気仙沼市の水産加工会社である株式会社八葉水産と登米市、クレジット販売の仲介を担うカルネコ株式会社の三者が優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。



授賞式での賞状授与

株式会社八葉水産は、登米市の豊かな森林が川を通して栄養分を海に提供し、豊かな海産物が育つことに注目し、森林由来 J・クレジットを選択しました。寄付型オフセット商品である「三陸産めかぶ」の販売金額から一パック当たり一円をクレジットの購入資金に充て、めか

ぶ製品の生産過程で排出される二酸化炭素をオフセットするとともに、購入者に脱炭素や森林整備活動への支援の機会を創出しています。

J・クレジット制度は、適切な森林管理を実施することで吸収した二酸化炭素量が評価され、木材の販売とは別の観点から収益を得ることが可能です。脱炭素社会の実現は、地球規模で取り組む必要があります。森林が生育する過程で二酸化炭素を吸収したり、木材に二酸化炭素を固定することに期待が寄せられています。クレジットを購入する企業等は、企業の PR や評価の向上、製品やサービスの差別化などのメリットを得ることができます。

森林には、二酸化炭素の吸収の他にも貯水機能や崖崩れの防止、生物多様性の保全など、さまざまな働きがあります。クレジットを販売した利益は森林経営の資金となり、森林整備を促進して更に公益的機能を発揮することができるようになります。これからもより多くの団体による制度活用が期待されます。

(東部地方振興事務所)

登米地域事務所

## 「全国苔フェスティバル in 栗原2023」の開催

十月二十八日(土)に栗原市栗駒の栗駒山麓ジオパークビジターセンターを会場として、全国苔フェスティバル in 栗原実行委員会主催の「全国苔フェスティバル in 栗原2023」が開催されました。

栗原地域で取り組んでいる「くりはらの苔」を PR するイベントとして、令和元年以来四年ぶりの開催となり、県内外の苔関連業者や苔生産者などが集い、苔商品の展示販売や苔玉づくりなどのワークショップを行ったほか、栗原地域の地場産品を販売する「くりはらマルシェ」も同時開催されました。

当日は好天に恵まれ、約千人の来場者があり、栗駒山麓のジオパーク(大地の公園)と織りなす魅力ある「苔の世界」を来場者に体感していただくことができました。

ワークショップに参加した方からは、いろいろな種類の苔があり、学びが多く勉強になったなどの声がありました。

なお、前日には、県主催の苔

関連イベントとして、苔生産者と造園業者との交流を図るための「苔栽培技術講習会」、商品化を進めるための「苔テラリウム商品化講習会」、苔の専門家三名によるトークショーも行われました。

今後、栗原地域の豊かな自然環境を活かし、地域の方々や各関係団体などと連携しながら、「くりはらの苔」の産地化を進めていきます。



会場内の様子



苔アドバイザーによる「苔の育成体験」

(北部地方振興事務所)

栗原地域事務所

あつまれ！みやぎの

森林人！

株式会社 石巻工房  
ちぼ 隆博さん

今回ご紹介する方は、株式会社石巻工房の代表取締役兼工房長である千葉隆博さんです。千葉さんは、石巻で二十年間、鮎職人として働いた後、もともと得意だったDIYの技術を生かし、家具職人に転身されました。

### 1 現在の職場勤務のきっかけ

私は家業である鮎店で二十年間、職人として働いていました。東日本大震災で店舗兼住宅が被災し、休業している間、同級生の営む和食屋を手伝っていたところ、縁あって「石巻工房」に出会いました。当時の石巻工房は、寄付で集まったレッドシダーのツバ材と工具を使い、震災に遭った人たちが自分で家具などを直したり作ったりする場所、私はDIYスキルを買

われて、家具などの作り方を教えるアルバイト管理人になりました。家具作りを始める転機となったのは、震災の年の七月、「石巻川開き祭り」で野外上映会を開催することになった際に、工業高校の生徒たちと作ったベンチです。このベンチは今も街中で利用されています。

その後、ハーマンミラー社と一緒に、仮設住宅のための縁台などを製作するワークショップを開催したところ、この活動がマスコミに取り上げられ、全国から家具を購入したいという声をいただきました。そこから本格的に家具の販売がスタートし、私は工房長となって、今に至ります。

### 2 工房の現状

経年変化が楽しめる  
石巻工房の家具

現在は従業員五名で家具を

製作しています。全員県内出身の木工経験者で、それぞれが一つの製品を、一貫して作り上げています。

### 3 木材へのこだわり

木の種類にこだわりはないですが、屋外でも腐りにくい、レッドシダーや屋久島地杉を主に使用しています。

また、最近では、室内で使用する家具には栗原市産のスギ材も使用しています。

石巻工房の家具は、入手しやすく加工しやすい材料を使い、「なんとなく自分でも作れそう」と思ってもらうのが狙いです。

### 4 今後の展望

新たにオープンした宿泊可能な石巻工房のショールームIshinomaki Home Baseを拠点に、木工のワークショップも楽しんでもらえるような事業を展開していきたいと考えています。

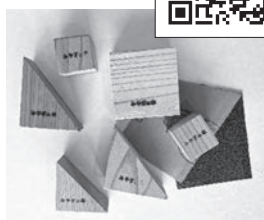
### 5 プライベート(趣味など)

道の駅の工芸品コーナーを見るのが好きです。「もったいなくすればカッコよくなるのになあ」と思いながらも、味のあるデザインを楽しんでいます。

(林業振興課)

## 読者アンケートに御協力ください！！

アンケートフォームは  
こちらから▶



手作り積み木キット

なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「みやぎの林業だより」を  
ご愛読い  
ただき、誠に  
ありがとうござ  
います。

この度、今後の企画・編集の参考にさせて頂いたため、読者アンケートを実施させて頂いたこととしました。よりよい「みやぎの林業だより」発行のため、ぜひご意見・ご感想をお聞かせください。アンケートにご協力いただき、プレゼントを希望された方の中から、抽選で5名の方に「手作り積み木キット」をプレゼントします。







# 特集 東日本大震災で被災した 海岸防災林の今

## みやぎグリーンコーストプロジェクト ロジエクトバスツアー開催

令和五年十一月二十四日、二十五日の二日間で、海岸防災林の保育作業体験を含むバスツアーを開催し、亘理・仙南コース、仙台沿岸コースで、計六十名の方に参加いただきました。

コース	亘理・仙南コース	仙台沿岸コース
開催日	R5.11.24 (金)	R5.11.25 (土)
内容	亘理町吉田浜(保育作業) ☆わたり温泉鳥の海(はらこ飯) 鳥の海温泉館内にて研修(企業担当者) 震災遺構中浜小学校(一般参加者) 金蛇水神社	仙台市若林区荒浜(保育作業) ☆キリンピアポート仙台(焼肉食べ放題) JRフルーツパーク仙台あらはま(フルーツ狩り) アクアイグニス仙台 かわまちてらす閣上
旅行代金	3,000円	3,000円
参加人数	23名	37名

☆昼食場所



作業状況



集客施設

各コースとも、午前中は既協定団体の方々に作業方法や海岸防災林の役割についてレクチャーを受けながら、保育作業を体験してもらいました。ススキなどが繁茂する植栽地がみるみるきれいになる姿を見て達成感を感じる方や、クロマツに絡みつくツルメを無心に取り除く方など、参加されたそれぞれの方が気持ちよく汗を流していました。

お昼は地元の郷土料理であるはらこ飯など、各エリアのグルメを堪能し、午後からは海岸防災林の近くに



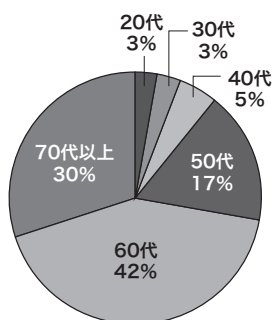
ある集客施設や観光スポットを訪問しました。

また、亘理・仙南コースでは、企業の担当者を対象とし、海岸防災林を活用したCSR活動に関する研修会を行うなど、各エリアで充実した一日を過ごしていただきました。

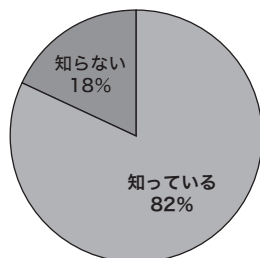
バスツアーの最後に行ったアンケート結果では、九十パーセントの方々に保育作業への達成感を感じていただき、さらに、良かった点として、多くの方から「現状を知ることができたこと」という意見をいただくなど、改めて海岸防災林の普及啓発の重要性を感じることができました。

(森林整備課)

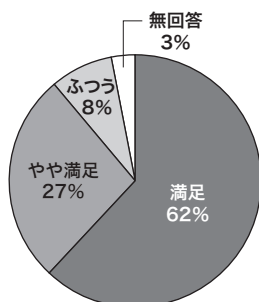
### 参加者アンケートの結果



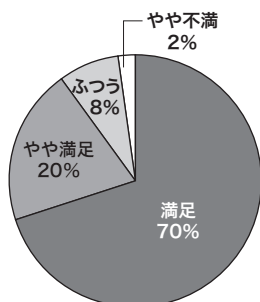
参加者の年代別割合



海岸防災林について



ツアー全体の感想



保育作業の達成感



集合写真 (亘理・仙南コース)

## 地域に愛され大切にされる 海岸防災林を目指して

東部地方振興事務所管内では、令和二年度までに東日本大震災で被災した海岸防災林の植栽が完了しました。今後、地域の賑わいを取り戻しながら、適切に保育管理を行っていくことや、令和二年に県が策定した「みやぎ海岸防災林・森林づくり基本方針」で目指す海岸防災林の姿の一つに掲げられている「地域に愛され大切にされる森林」となっていくことが課題となっています。

そこで当事務所では、若い世代に関わってもらいながら地域住民等が海岸防災林に親しみを持ち、関心を高めてもらえるような取組を展開しています。

東松島市大曲地区においては、大曲まちづくり協議会及び東松島市と共催で「みやぎ海岸防災林・森林づくりイベント」を令和三年から定期的に開催しています。これまでのイベントでは、クロマツ植栽区域の除草体験、みちのく潮風トレイル区間のウォーキング、海岸のビーチクリーン、小学生向けの木工工作など様々な企画を考えながら、八回にわたり開催してきました。

また、同市野蒜地区においては、

地元団体の野蒜塾と連携し、宮城県仙台二華高等学校が実施する課題研究やフィールドワークの支援を行っています。今年九月には、一年生約七十名を対象に海岸防災林の役割や保育管理について講義を行ったほか、課題研究で取り組む予定となっている松葉の堆肥化について支援を行うこととしています。

今後も、地域に愛され、大切にされる海岸防災林を目指し、地域の方々と連携しながら、海岸防災林を活用した賑わいづくりに取り組んでいきます。

（東部地方振興事務所）



仙台二華高等学校  
フィールドワーク▶



◀ウォーキングイベント  
の様子

## クロマツ海岸防災林の健全 化に向けた調査について

海岸防災林には潮風に強く、貧栄養な土壌でも育つクロマツが主に植栽され、継続的な保育管理により成長を目指しています。保育管理には下刈りやつる切りに加えて本数調整伐を行います。これはクロマツの成長に伴い、段階的に行う間伐のことで、植栽時のまま生育が進むと、幹が細く樹高が高くなり、津波への耐性が弱い樹形になるため、本数を計画的に減らし、健全な森林に誘導するものです。

しかし、本県では本数調整伐の実施事例が少なく、生育への影響は不明であることや、約七百五十ヘクタールという広大な面積を管理する必要があり、ことから、保育管理の効率化、残したクロマツの生育状況などを調査するため研究を行いました。

亘理町の海岸防災林を対象に本数調整伐を実施し、残存木の生育に伐採や伐採率による違いが見られるかを調査しました。伐採前の材積の二十五パーセントを伐採した区画、三十三パーセントを伐採した区画、伐採を行わなかった区画を作成し、本数調整伐から一年が経過した時期

に三つの区画の生育状況を調べたところ、本数調整伐前から見られていた病虫害以外は風倒などの気象害や枯死等は見られず、健全な生育が確認されました。

また、本数調整伐を行った二つの区画は、行わなかった区画と比較して、幹の肥大成長がよい傾向が見られました。

これらのことから、本県では本数調整伐によるクロマツへの影響は軽微であり、幹の太さを大きくする効果があると考えられます。

また、より多く伐採した場合でも健全な生育が確認されたことから、高い伐採率により回数を軽減し、効率的に保育管理を実施できると考えられます。



本数調整伐を実施した海岸防災林

海岸防災林の成林には数十年という長い年月が必要であるため、今後も生育状況も生育状況に合わせた調査、研究を継続し、健全な海岸防災林の成林を目指します。

（林業技術総合センター）



# ハタケシメジ 栽培講習会の開催

北部管内では、特用林産物の生産が盛んであり、シイタケやエノキ茸が主要品目となっており、ハタケシメジの生産にも取り組んでおり、直売所の人気商品となっています。

そのような中、全国的にも有数の集客を誇る「あ・ら・伊達な道の駅」から、生産者を対象とする栽培講習の要望があり、農業振興部と合同で開催しました。



講習会の様子

講習会では、栽培方法と生産コストの説明後「温床キット」を使用した実演を行いました。



菌床と温床キットの設置

質疑応答では、資材や電気代に関する質問が寄せられました。その後、複数の方が栽培に取り組むことになり、直売所では、助成金を支給するなど、積極的にハタケシメジの栽培を推進しているところとす。

直売所では、野菜、きのこ及び山菜の通年販売を目標に掲げ、幅広い生産者の確保とともに生産基盤構築を進めていることから、今後も直売所での販売などについて、継続支援していくこととしていきます。



(北部地方振興事務所)

# 森と食の連携推進 「木育」×「食育」

大河原地方振興事務所では、仙南地域の木材を利用した箸づくりを通じて、身近な里山と木材に対して親しみを感じるとともに、地元食材への愛着を醸成することを目的とした、「木育」×「食育」プログラムを地元教育委員会などと協力して展開しています。

昨年度は、管内の木製品製作者を講師に迎え、手作り木製箸の製作体験を行いました。

今年度は、柴田町内の小学校二校と連携を図り、箸づくり体験を実施しました。

参加した児童からは「削るのは大変だったけれど無事に出来てよかった」、「早速、作った箸を給食で使いたい」などの感想がありました。

また、赤ちゃんが初めて手にする安全安心なおもちゃ（ファーストイ）を地域材で製作し、生まれた時から木に触れる機会の定着にも取り組んでいます。

今後も、「木育」を推進するとともに、「食育」など他分野とも

協同し、子どもたちの健やかな成長を支援してまいります。



ホオノキを使った箸づくり体験



初めて手にするファーストイの試作品

(大河原地方振興事務所)



「気仙沼産メンマ」  
今年もはじめました

気仙沼管内では放置竹林対策として、竹資源を活用した新たな地場産品の商品化を図るため、使われることの無かった地元産の幼竹を原材料とした「気仙沼産メンマ」の商品化に向け、平成三十一年度から気仙沼市内の生産者と一緒に取り組んでいます。

令和三年度までに製造工程が確立し、試験販売を行ったものの、昨年度は天候不良により、乾燥段階でカビが発生し、商品



収穫された幼竹

化は断念しましたが、今年度は、万全の体制でメンマ作りに臨みました。  
今年度の仕込み作業は、メンマ作り体験会も兼ねて五月に行っており、気仙沼市のみならず、南三陸町や遠くは石巻市からメンマ作りに興味を持った有



下ごしらえ完了(約50kg)



下ごしらえ作業

また、完成したメンマですが、仙台市内のラーメン店「カラキッド」様より、「俺らの宮城飯」をコンセプトに奥州厳選素材を使用した限定イベントで、気仙沼産メンマを使用したいとの連絡があり、実際に現物を確認して頂き、見た目や品質等も非常に高評価を受け、十月に塩竈市で開催されたイベントに使用して頂きました。イベント



天日乾燥中のメンマ

志が九名参加しており、気仙沼メンマの輪が着実に広がっていると感じました。  
なお、今年度は天候にも恵まれ、無事に六・五キログラム(乾燥前重量五十キログラム)のメンマが完成しています。

ト参加者からは「気仙沼でメンマ?」というギャップもあり、非常に好評を博しました。

また、気仙沼市産業まつりにおいて、PR活動の一環として味付けメンマ試食の他にアンケートを実施しました。メンマ作りに取り組みたいかという問いには、回答者の半数は取り組んでみたいという回答があり(回答数二十)、今後もメンマ作りの輪は更に広がっていきそうです。是非、興味のある方は気仙沼地方振興事務所林業振興部HPをご覧ください。



試食用味付けメンマ

イベントメニュー  
「伊達の潮一極」



(気仙沼地方振興事務所)

## 日々、木育体験田 登米市・白鳥ゆめっこ園に 木製品が導入されています

みんなで広げる「木育活動」推進事業を活用し、令和四年度に、登米市迫町の幼保連携型認定こども園、白鳥ゆめっこ園にたくさんさんの木製品が導入されました。

今回導入された木製品は、つみきや輪投げ、ハイハイ台などの子供たちが楽しく遊べる玩具や、机や椅子、時計など、生活で常に使用する家具などです。また、丸太を加工した平均台など、外遊びにも木製品を導入しました。

木製品を製作したのは津山町木工芸品事業協同組合で、スギやマツ、サクラ、ケヤキなど、様々な地元県産材がふんだんに使われています。

木材で製作された玩具や家具は、木のぬくもりや香りを楽しむことができます。また、机や椅子は、万が一ぶつかった時に衝撃を吸収したり、これからの寒い時期は、家具に触れたときに冷やっとする感覚を緩和することができます。

認定こども園で子供たちが過ごす時間は長いいため、幼少期から日常で使用する木製品に触れることで木材の良さを体感し、五感を育んで欲しいと思います。



椅子  
(子供たちが持ち運べるよう取っ手付き)



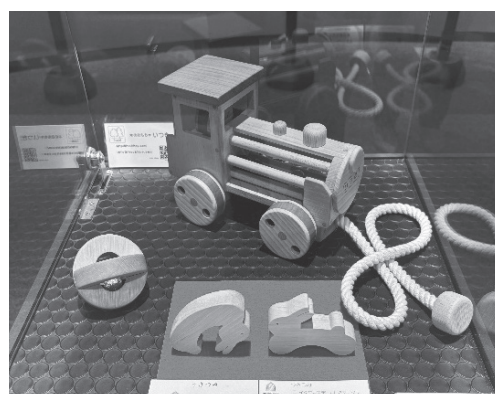
つみき  
(木目や木の香りが楽しめる)

(東部地方振興事務所  
登米地域事務所)

## 「みやぎの木製品2023」 を初開催しました♪

県では、木の良さや木材を利用する意義などを広く県民へPRするとともに、県産材の利用促進を図るため、九月から十一月までをみやぎの木づかい運動2023の「県産材利用推進月間」として、関係団体等と連携し、森林・林業・木材に関する情報提供やイベントを開催しました。

当運動の一環として、十月二日から二十七日まで、宮城県行政庁舎十八階県政広報展示室において、「みやぎの木製品展2023」を初開催し、県産材を使用している県内の加工業者八者の作品を展示したほか、十月十六日から十八日には、「山の幸販売会」において、木製品



木製品展示の様子

の販売やパネル展示を行うなど、木製品の魅力を発信しました。

本県の森林は本格的な利用期を迎えています。木材を利用することは、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を進め、人工林の若返りを図るだけでなく、建築物等に炭素を貯蔵することからも貢献します。

県では、今後も、新築住宅や民間施設などの木造・木質化を支援するとともに、県産材の普及PRイベントの開催などにより、県産材の利用促進を図ってまいります。

(林業振興課)





渓流の安定を図る治山ダム

## 暮らしを守る治山事業

近年、気候変動に伴い自然災害が激甚化・多発化しており、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が確認される状況にあります。

治山事業は、森林の維持造成を通じて、国民の生命・財産を保全する重要な国土保全対策であり、荒廃または荒廃する恐れのある溪流や山腹斜面において、治山施設の設置や森林整備を実施し、森林の持つ防災機能を発揮させながら住宅地や道路などを災害から守ることを目的

としています。

県では、山腹斜面の崩壊や土石流、地すべりなどの山地災害が発生するリスクの高い箇所を「山地災害危険地区」に指定し、定期的に点検を実施するとともに、危険度ランクの高い箇所については、優先的に治山対策を進めています。

また、既存治山施設の老朽化等への対策として「宮城県治山施設個別施設計画(第一期)」を策定し、将来にわたって施設の機能を効果的に発揮できるように取り組んでいます。

最近では、令和四年七月に、県の中央部から北部にかけて記録的な大雨を観測し、五十一箇所で山地災害が発生したほか、三箇所で既存の治山施設が損壊する被害を受けました。

現在、災害関連緊急治山事業や、林地荒廃防止施設災害復旧事業などにより荒廃林地や被災施設の復旧を進めており、早期の完了を目指して事業を実施しています。

引き続き、山地災害の発生に備え、地域の皆様の暮らしを守るための治山事業に積極的に取り組んでまいります。

(森林整備課)

## 「林道施設災害復旧」について

令和元年度から令和四年度にかけて施工した、気仙沼管内の林道復旧工事を紹介します。

令和元年十月十日から十三日に発生した、令和元年東日本台風での大雨による林道被害は、気仙沼市で八路線十一箇所、南三陸町で十九路線十九箇所において発生しました。



【南三陸町並石線】被災状況写真

工事の発注主体は市町になりますが、担当職員が不足していたことなどから、早期の復旧を図るため、県では、被害状況確認から復旧工法の検討、災害申

請から発注設計書の確認等に至るまで支援を行い、令和二年度までに詳細設計を終え、令和三年度から工事に着手しました。令和四年度末にはすべての路線の工事が完了し、これまでどおりの利用が可能となりました。

令和四年七月十五日から十六日に発生した豪雨でも、南三陸町で一路線五箇所の被害がありました。こちらも令和五年度内に全て完成する予定です。

林道は、森林整備のみならず地域に密着した生活道としても重要な役割を果たしていることから、日頃の維持管理・点検を励行して、災害に強い林道づくりを進めてまいります。



【南三陸町並石線】復旧状況写真

(気仙沼地方振興事務所)

### 森林組合の経営診断 地域林業の担い手として

森林組合は、森林組合法に基づき、森林を所有する組合員が出資して設立した協同組合です。森林経営のために、経営指導、施業の受託、林産物の加工・販売など、組合員が共同で利用する様々な事業を行っています。森林組合は地域の林業において大きな役割を果たしていますが、林業の担い手不足や木材価格の低迷などの課題が多い中、安定的に事業を継続していくためには、組織や財務の基盤強化が必要になってきます。

県内には、(令和五年四月一日現在)十六の森林組合と、森林組合等が会員となって設立された宮城県森林組合連合会があります。

森林組合系統の経営状況については、毎年度定期的に確認・検証する体制として、森林組合経営検討委員会を宮城県、宮城県森林組合連合会と農林中央金庫仙台支店の三者で組織し、必要な支援策を検討、実施しています。

支援策の一環として実施して

いるのが中小企業診断士等の専門家による経営診断です。令和四年度までに、県内十五森林組合を対象に経営診断を実施し、経営状況の分析結果を基に、具体的な改善策の提案を行ってききました。

今年度は、未実施の一組合について経営診断を実施することに加え、宮城県森林組合連合会も同様の枠組みの下で、長期間低迷している共販事業の立て直しを目指して、経営状況の確認や経営診断を実施する予定としています。

また、今後、森林組合は森林経営管理制度の担い手としても、収益性を高めながら、持続可能な林業経営を行っていくことが一層期待されています。県



経営診断(ヒアリング)の様子



では引き続き、関係機関と連携し、必要な支援を行ってまいります。

(水産林政総務課)

### みやぎ、全育っーしん Vol.1

令和七年に本県で開催する第四十八回全国育樹祭の成功に向け、関係者が一丸となり開催準備に取り組むため、八月二十五日に「第四十八回全国育樹祭宮城県実行委員会」を設立しました。実行委員会では、「みやぎ全育っーしん」として、開催に向けた取組を紹介して行きます。



実行委員会設立総会  
会長(村井知事)挨拶

#### 【全国育樹祭主要行事の紹介】 ◆お手入れ行事◆

平成九年に第四十八回全国育樹祭が開催された、白石市の国立花山青少年自然の家南蔵王野営場において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木への、皇族殿下によるお手入れが行われます。



お手入れ行事会場  
国立花山青少年自然の家  
南蔵王野営場

#### ◆式典行事◆

利府町のセキスイハイムスーパーアリーナを会場に、皇族殿下によるお言葉や緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動発表、アトラクション演出などが行われます。



式典行事会場  
セキスイハイム  
スーパーアリーナ

次回は、育樹祭の大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画を紹介予定です。今後、「みやぎ全育っーしん」をお楽しみに。

(実行委員会事務局/  
全国育樹祭推進室)



## 木材市況の動向

表1 各共販所別木材市況(令和5年10月)

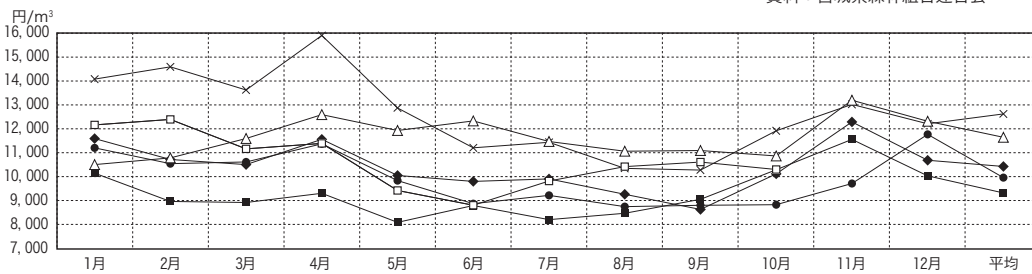
樹種	材長 m	径級 cm	価格(中値 単位:円/m <sup>3</sup> )				
			仙南	仙北	大衡	津山	石巻
ス	3.00	14~16	—	—	—	—	—
		16~30	—	—	—	—	—
		20~32	11,450	—	—	13,000	—
ギ	4.00	10~13直曲	—	12,150	—	12,650	—
		14~18直曲	—	12,150	11,500	12,650	—
		20~22	10,800	11,900	12,300	12,680	—
		24~34	11,500	—	12,500	13,400	—
		36~	10,800	—	12,000	13,400	—

### 概況

#### 素材動向

・素材価格は前年同時期より大幅に値を下げている。

資料：宮城県森林組合連合会



素材：県森連共販所市況(平均価格)

図1 素材価格の動き

## 特産市況の動向

表2 生しいたけ価格の市況

単位：円/kg

年次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	1,160	958	947	795	958	851	836	913	987	968	929	1,009
平成31年	1,064	993	895	932	887	888	901	989	949	908	953	998
令和2年	999	965	977	1,006	973	958	926	944	1,057	1,044	989	1,001
令和3年	1,046	954	916	879	892	862	843	921	939	921	948	1,035
令和4年	1,010	991	982	948	983	1,012	1,035	976	1,002	1,015	1,013	1,038
令和5年	1,031	968	967	966	996	1,038	1,019	996	1,011	1,016		

資料：仙台中央卸売市場

### 概況

・平成24年に原木しいたけ(露地)が出荷制限指示を受けたこと等に伴い、価格は大きく下落したが、平成26年次以降は900円代と、震災前の平均価格を上回っている。  
 ・令和4年の生しいたけ年平均の単価(円/kg)は前年を上回って推移し、年平均単価は1,000円を上回った。

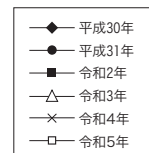
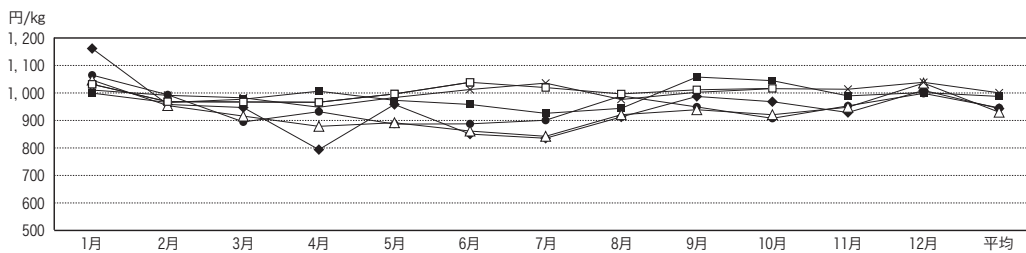


図2 生しいたけ価格の動向

表3 宮城県の新設住宅着工戸数(令和5年9月)

項目	総数	木造戸数	非木造戸数	木造率(%)
令和5年9月(戸)	1,347	1,192	155	88.5
令和4年9月(戸)	1,710	1,154	556	67.5
前年同月比(%)	78.8	103.3	27.9	—
令和4年10月~令和5年9月(戸)	16,596	11,918	4,678	71.8
令和3年10月~令和4年9月(戸)	17,691	11,905	5,786	67.3
前年同期比(%)	93.8	100.1	80.9	—


資料：住宅着工統計

### 概況

#### 新設住宅着工戸数

・9月の新設住宅計は前年同月比で21.2%減少し、前年同期比では7.8%下回っている。  
 ・構造別では木造が前年同月比で3.3%増加し、前年同期比で0.4%減となり、木造率は前年同月比で21.0ポイント増の88.5%となった。

国産材(生産販売)、木材チップ生産  
製材業、伐出造林請負



## 宮城十條林産株式会社

代表取締役 亀山 武弘

本社 〒980-0871  
仙台市青葉区八幡3丁目2番7号  
☎仙台(022)261-2151(代) FAX(022)261-2150

営業所 気仙沼・栗駒・飯野川・大和・白石・郡山・岩出山  
工場 気仙沼・栗駒・白石・岩出山  
関連会社 宮十運輸株式会社・宮十造園土木株式会社  
株式会社宮城環境保全研究所



## 坂元植林株式会社 株式会社サカモト 坂元植林の家

サカモトグループ



地域との共生  
「めぐりめぐみ」をテーマに  
私たちは自然を愛し、  
大切に育てていきます。

〒989-1601 宮城県柴田郡柴田町船岡中央1-9-12  
Tel:0224-58-1100 Fax:0224-58-2252  
www.web-sakamoto.co.jp

## 宮城県木材チップ協同組合

代表理事 亀山 武弘  
専務理事 小澤 幸三  
理事 亀山 征弘  
理事 梶原 領太  
監事 阿部 貢也  
監事 石田 竜也

〒980-0871 仙台市青葉区八幡三丁目2番7号  
電話 022(261)2151 FAX 022(261)2150

## 宮城県木材チップ工業会

会長 米澤 光秀  
副会長 永井 政雄  
副会長 菅原 正義  
副会長 佐藤 裕康  
ほか理事一同

〒980-0871 仙台市青葉区八幡三丁目2番7号  
電話 022(261)2151

緑をはぐくみ水をつくる  
奥地水源地域の森林整備

## 水源林造成事業

### 宮城県水源林造林協議会


〒980-0011  
仙台市青葉区上杉2丁目4-46  
宮城県森林組合会館内  
TEL (022) 266-7121

## 一般財団法人 佐々君治山報恩会

代表理事 遊佐 勘左衛門


〒989-6165 大崎市古川十日町4番14号  
TEL (0229) 22-1281  
FAX (0229) 22-1281  
E-mail: sasakimi@proof.ocn.ne.jp

- 製材機械
- プレカット機械 「木」に関する機械の販売及びメンテナンス
- 農林業機械



## 筒井鋼機株式会社

☎ (022)224-1261 〒980-0013  
📄 (022)265-9231 仙台市青葉区花京院二丁目2番22号



弊社WEB



スゴいぞ! みやぎの木のチカラ



# 木×SDGs

Wise use of woods from みやぎ!

県土の約6割を占める森林は、水源のかん養や山地災害の防止など多様な機能を担っており、その発揮が様々なSDGsの目標達成に貢献しています。また、製造時のCO2排出量が少なく、内部に炭素を蓄える木材を上手に利用すること(ワイズユース)は、温暖化防止など様々なSDGsに貢献し、そこから生み出される恵みを森林の再生に還元させることで持続可能な循環を作り出すことができます。

みやぎにはJAS製材品など優れた品質の木材や高度な加工技術があります。どうぞ、家づくりや街づくり等において「みやぎの木のチカラ」を実感してください。私たちがお手伝いいたします。

宮城県木材協同組合の取組例

JAS製材品の  
利用拡大



宮城県産材  
利用拡大




宮城県木材協同組合 理事長 米澤 光秀

tel: 022(233)2883 <https://miyagi-wood.jp>

令和5年度JAS構造材実証支援事業

森林は大切な資源です  
森林整備を通して  
美しい森林を未来に伝えます

 一般社団法人 宮城県林業公社  
(森林整備法人)

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17  
TEL (022)275-9171 FAX (022)275-9172  
<http://www.miyagi-rinkou.sakura.ne.jp>

**緑の募金**  
にご協力ください!

令和6年度目標額

**45,000,000円**

令和6年緑の募金運動スローガン

「緑の募金で進めよう SDGs」～もりもり 森林を守る 森林を活かす～



公益社団法人 宮城県緑化推進委員会

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎10階

TEL.022-301-7501 FAX.022-301-7502

「公益信託 農林中金森林再生基金」(農中森力基金)<sup>もりちから</sup>等を通じ、森林の公益性発揮を目指した活動を積極的に支援していきます。

## 農林中央金庫 仙台支店

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目2番16号 (JAビル宮城内) ☎022(711)7531(代)

私たちは森林づくりのプロフェッショナルです。ご相談はお近くの森林組合に！

## JForest 宮城県森林組合連合会

仙台市青葉区上杉2丁目4-46  
TEL022-225-5991 FAX022-225-5994

■優良みやぎ材の原木は

仙南地区木材センター 0224-65-2166

仙北地区木材センター 0229-72-1877

大衡総合センター 022-345-2205

津山木材センター 0225-68-3038

■樹木の枝や根の有効利用は ウッドリサイクルセンター 022-345-6041

花粉症対策スギ挿木コンテナ苗木, 海岸防災林用抵抗性クロマツ苗木をはじめ、林業用及び森林復旧用各種苗木のご用命・ご相談承ります。

## 宮城県農林種苗農業協同組合

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目4番46号  
TEL (022) 222-3661 FAX (022) 222-3688

## 林業の<sup>今</sup>を伝える月刊誌 令和6年度の購読申込受付開始!!



**GR 現代林業**  
A5判 80頁  
年間購読料 5,400円(送料込み)



**林業新知識**  
B5判 24頁  
年間購読料 3,000円(送料込み)



**山林**  
A5判 66頁  
年間購読料 3,500円(送料込み)

図書の申込、問い合わせは

### 宮城県林業振興協会

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17  
宮城県仙台合同庁舎10階

**TEL 022-301-7501**  
**FAX 022-301-7502**

発行 宮城県林業振興協会 仙台市青葉区堤通雨宮町四番十七号  
編集協力 宮城県水産林政部林業振興課  
☎022-222-3011